

2月 ピッコロだより



【2月の活動】 ～ 身の回りのルールを知る / 得意なことを発表する ～

月	火	水	木	金	土
		1 自分の回りの ルールを知ろう (学校)	2 自分の回りの ルールを知ろう (学校)	3 自分の回りの ルールを知ろう (学校)	4 自分の回りの ルールを知ろう (学校)
6 自分の回りの ルールを知ろう (学校)	7 自分の回りの ルールを知ろう (学校)	8 自分の回りの ルールを知ろう (公共施設)	9 自分の回りの ルールを知ろう (公共施設)	10 自分の回りの ルールを知ろう (公共施設)	11 休み (建国記念日)
13 自分の回りの ルールを知ろう (公共施設)	14 自分の回りの ルールを知ろう (公共施設)	15 得意なことを 発表しよう	16 得意なことを 発表しよう	17 自分の回りの ルールを知ろう (公共施設)	18 自分の回りの ルールを知ろう (公共施設)
20 得意なことを 発表しよう	21 得意なことを 発表しよう	22 工作 (みんなで協力 して作る)	23 休み (天皇誕生日)	25 工作 (みんなで協力 して作る)	26 得意なことを 発表しよう
27 工作 (みんなで協力 して作る)	28 工作 (みんなで協力 して作る)	※中学生の活動について ・2/26(土)～考えて制作しよう			

※専門職の来所日は下記になります。

公認心理師(松本)：14日(火)、15日(水)、22日(水)、24日(金)

言語聴覚士(永山)：2日(木)、3日(金)、9日(木)、17日(金)、27日(月)、28日(火)

理学療法士(樋口)：13日(月)



得意な事を発表しようについてのおねがい

得意なことを発表しようの活動では、本人の得意なことをみんなの前で披露してもらいます。

【例】絵を発表する：実際に自分が描いた絵を自宅より持って来て、活動中に描いた絵を発表する。

利用日までに何を発表するのかご家庭でもお子さんと話をして頂き、準備をお願い致します。何か御不明点がございましたら、いつでも職員へお尋ね下さい。

(今月の主な活動) 身の回りのルールを知る/得意なことを発表する

ねらい：学校、外出先、自宅等、集団生活でのルールやマナーの確認をする

自分の得意なことをみんなに紹介し、称賛される経験をする

☆社会で生活する中でさまざまなルールやマナーを知ります。また、身近なルールやマナーについて自分の知っていることを発表したり、クイズを出し合ったりしながら、集団生活の中で守るべきルールやマナーを確認します。

＜自分の回りのルールを知ろう＞

☆自分の得意なことをみんなの前で発表し合い、友だちに称賛される経験をしてもらいます。また、称賛されることで達成感や自己肯定感を高めたり、新たな友だちの一面を知ることで友だちとの絆を深めたりします。

＜得意なことを発表しよう＞

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・社会福祉法人 落穂会のホームページ (<http://www.asahigaokagakuen.jp/>) におたよりを掲載していますので、ご確認ください。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日 (午前) 10 時 20 分まで、(午後) 13 時 50 分までをお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日 (午前) 11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後) 15 時 20 分～15 時 40 分の間をお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【キャンセル待ちについて】

- ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

【欠席連絡について】

- ・平日は 16 時以降、土曜日 (午前) 当日 9 時 30 分以降、(午後) 13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代 (¥60/日) をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



～感謝を込めて～

児童発達支援ガーデンキッズトリア保護者 岡村 千恵美

ずっと心配していた息子もあつという間に 6 歳になり、いよいよ卒園を迎えます。これまで凄く悩んだりとても大変だったりしたことも、今となっては笑って話せるほどにいい思い出です。

息子は、3 歳児検診で療育を勧められました。いくつか施設見学をして、先生方の明るくやさしい雰囲気が印象的だったセルクを希望し、3 歳の 9 月から通いはじめました。

最初の頃は、入口まで行ってもなかなかお部屋に入らなかったり、お部屋に入っても活動を拒否したりなど、不安なことばかりでした。療育の必要性を感じつつも仕事を休めず、息子に対して申し訳なさも感じていたところ、トリアへの移行をご提案いただきました。トリアでは幼稚園の送迎があったので、安心して療育を継続することができました。

息子は体の成長とともに痲癩にも拍車がかかりました。外出先で大声で泣きじゃくり、床に寝そべって、足をドンドンバンバン床や壁に打ち付けるので、こちらは何度も心が折れそうになりました。そのような中、先生はとても親身に、丁寧にアドバイスをくださり、涙が出そうなほどありがたかったです。また、アプリで受け取る内容が大変勉強になりました。先生方と息子のやり取りは心が通い合っているように感じ、先生方の接し方を自宅でもお手本にしました。就学に向けて県療育センターに繋いでいただいたことも、大変心強かったです。たくさんの寄り添いのおかげで、息子は年長さんになって痲癩もほぼなくなり、運動会や発表会では見違えるほどに頑張る姿を見せてくれました。この 3 年余りを振り返ると、この先どうなるのだろうと先の見えない果てしない道のり、その時その時は心が折れて途方に暮れたことも、今となっては息子がくれた輝きや喜びで鮮やかに上書きされていることに気付かされます。落穂会との出会いがあったからこそ、今の感動があるのだと、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

先生方には、コロナ禍、大変なご苦勞もあったことと思いますが、大変お世話になり、本当にありがとうございました。きっとこの先も思い悩むことがあると思いますが、我が子のチカラを信じて、親子共々成長していけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



～みんなちがって、みんないい～

放課後等デイサービスラソン保護者 工藤 昭子

私には 4 人の子供がいます。乳幼児期、病気やケガが多かった 3 番目の次男は 4 人の中でも一番おっとりしていて、いつもニコニコ人当たりもよく、周囲の人にもかわいがってもらえる自慢の息子でした。

たくさんの夢や希望をもって入学した小学校。そんな次男の文字が読めない、書けない異変に初めに気づいてくださったのは 1 年時の担任の先生でした。当時の私はグレーゾーンの長男に手を焼き、過剰なまでに次男に期待をしていました。期待が大きかった分ショックが大きかったのを覚えています。

検査を受け 2 年生からは支援学級に通うことになりました。なにが正しくてなにが間違っているのか。答えがわからないうえ、長女と次女が小・中学校の W 入学でやるべきことばかり。“母親の私がしっかりしなくては”と焦りもがく私を見ていた次男から笑顔は消え、いつもおどおど困ったように笑う…明るかった次男は別人のようになっていきました。

そんな時支援学級の担任の先生から放課後等デイサービスのことをお聞きしました。知識ゼロの私はどうしていいかわからず、とりあえず片っ端から電話をしました。しかし中途半端な時期もあり見事に玉砕。意気消沈している私に支援クラスで親子共々仲良くしてもらっているお友達からラソンを紹介してもらいました。

あれから 1 年。息子は今、昔の笑顔に戻り生き生きしています。型にはめ、力で押さえつけ、“普通”であってほしい、周りと同じが正しいと思い込んでいた私は毒親でした。否定され続け自信を失っていた息子は、ラソンで先生方に優しく時に厳しく接していただき肯定してもらえることで自分らしさや自信を取り戻すことができました。私も『みんな顔も個性も違う、同じ人間なんているのだからみんなちがって、みんないい』と教えていただきました。

今回、これまで息子と歩んできた 9 年間を振り返るいい機会をいただきありがとうございました。私は柔軟な考え方を、息子は感謝の気持ちを忘れないように親子で成長していきたいです。まだまだ未熟な凸凹家族ですがこれからも温かく見守っていただけるとありがたいです。

